



2008・8月号

月刊 窯ナビ

必ず良いことがある人のために送る！

DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

ウラ面も情報満載

【発行日】2008年8月31日 【発行人】大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444【ホームページ】http://www.daichiku.jp/

ユーザーさん登場 「陶芸教室～作りながら基本を学ぶ」の著者・田宮亜紀さん



photo T.S

【陶芸を1冊にまとめたことについて】

谷口：陶芸初心者の方にもわかりやすい内容に仕上がっていますが？

田宮：初めて作るかたの身になって、やりやすい方法や、わかりやすいことばを心がけました。

谷口：構成について工夫した点は？

田宮：まず“暮らしの中にあるやきものの楽しさ”などを見てから実践の作り方へ、という流れが自然に興味もわくのではないかと思います。

谷口：特に苦労した点は？

田宮：作り方の説明です。私は体で覚えるタイプなので、普段考えずにやってることを言葉にすることは、難しかったです。

谷口：陶芸初心者にメッセージをお願いします。

田宮：興味がわいたら、まずは好きなものを作ってみて、楽しんでください。

【陶芸について】

谷口：前職は出版関係だったんですね？

田宮：はい、そうです。

谷口：いつ現職につきましたか？

田宮：ちょうど30歳になったところに、趣味でやっていた陶芸を本格的にやりたくになりました。

谷口：陶芸家として何かひとつ心に残る出来事を上げるとすると、どんなことがありますか？

田宮：土瓶を10年使い続けているお客様が、アケビの持ち手が切れたので直してほしいと言って、昨年の個展会場に訪れました。直してずっと使いたいという話を聞いて、とてもうれしく感じました。

谷口：その出来事をきっかけに何か変わったことはありますか？

田宮：器でも壺でも、私は作るという最初の過程に携わるだけで、できたものの人生(?)のほうはずっと長いのだと実感しました。

谷口：お客様からどのようなことをほめられるとうれしいですか？

田宮：“お料理をもったら、すごくはえて、いつも使っています”など、喜んで使っていただいている話を聞くとうれしいです。

谷口：どんなときにやりがいを感じますか？

田宮：毎日使われて深みをました自作のものに出会ったときです。

谷口：最近、一番うれしかったことは何ですか？

田宮：お寿司屋さんで、使い込まれた自作の大皿にお寿司がもられてるのを見たときです。後ろのお客様の注文だったのに、思わず写真撮らせていただきました。

谷口：今の目標やこれからやりたいことを教えてください。

田宮：今までの延長線上で、さらに深い仕事をしていきたいです。

谷口：大築窯炉のガス窯を選んだ理由は何ですか？

田宮：先輩陶芸家の紹介です。

谷口：大築窯炉のイメージは？

田宮：窯だけでなく、やきもの全般を研究して窯を作っている感じがします。



大作も作成中！

著者の田宮 亜紀さん

東京都出身。出版社勤務

のかたわら、陶芸を勉強。

1996年独立・益子築窯

1999年静岡築窯

2000年新築窯

東京、神奈川、静岡、福岡などで個展。

日常生活に愉しめる焼物の器や壺などを作っている。

Http://www.tamiya-aki.com

【田宮さんの個展情報】

代官山「無垢里」にて

10月17日(金)～10月22日(水)

連絡先：tel5458-6991

http://tamiya-aki.com/

【予定】

11月：福岡・ラグラスフィールド

12月：静岡・ギャラリー文夢



愛犬の、しゃげ

うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！メッセージ！

ものを作る人は、ものを作るという最初の過程に携わります。が、出来上がったものは世の中で生き続けます。いろいろな人に使ってもらおうという“つくられたものの人生”のほうはずっと長いのです。たとえ作者が居なくなっても、だから楽しい。

ユーザーの個展・展示会の情報募集

当社ではユーザの個展・展示会の情報を募集しています。ダイレクトメール(DM)などの案内書ができましたら、弊社までお送りください。当ニュースレター「月刊・窯ナビ」やホームページ上でご紹介させていただきます。グループ展や小さなイベントでもOKです。どしどしお寄せください。費用は一切かかりません。

お客様に学ぶ今月の格言！

「興味がわいたら、まずは好きなものを作ってみて、楽しむこと」

【興味がわくこと、それが感動への第一歩である。陶芸はそれをかなえてくれるのです。】

ガス窯・電気窯/ダイチクの貸し窯

ガス窯0.4㎡・・・本焼き18,000円・素焼き7,000円

ガス窯0.1㎡・・・本焼き8,000円・素焼き4,000円

電気窯8kw・・・本焼き5,000円・素焼き3,000円

初回焼成指導料(任意)・・・5,000円

・使用期間中はポットミルの使用は無料

・電子レンジ・仮眠室あり(無料)

お申込みは、直接または0296-72-1444(金沢)まで

ユーザーさんの個展情報



和田直作陶展

2008年8月29日(金)～9月23日(火)
kyohan six gallery
栃木県芳賀郡益子町益子706-2
〒321-4217
:0285-72-4444(代)



高野利明作陶展 森永篤史作陶展

2008年8月30日(土)～9月12日(金) 2008年9月13日(土)～9月26日(金)
回廊ギャラリー門
茨城県笠間市笠間2230-1 笠間芸術の森公園前
0296-71-1507

陶芸・今月の1冊 「陶芸教室～作りながら基本を学ぶ」

簡単にできる

陶芸教室

～作りながら基本を学ぶ



田宮肇記



誠文堂新光社

道具から土選び、乾燥、焼成、釉薬の使い方までを解説し、手びねりで作るぐいのみ、板皿、小壺、ろくろで作る茶碗、片口などの作成方法を写真でわかりやすく紹介。巻末には、陶芸用語や、貸し窯&陶芸のお店も掲載。

「窯」のページでは協力・株大築窯炉工業も。

【チョット読めない陶芸用語～陶芸教室～作りながら基本を学ぶより】

梅花皮・・・焼成不足で釉薬が十分に溶けず、ちぢれた状態になったことをいいます。茶器では景色のひとつとして賞美されます。

指頭文・・・模様をつける方法のひとつ。半乾燥した素地に、指先を押し付けて作った模様です。

鑄・・・やきものの表面に施す飾り付けのひとつです。茶碗などの表面をへらなどで削って境目の稜線を際立たせた模様のことです。

兜巾・・・高台中央部が突起になっているものこと。突起の形が山伏のかぶる兜巾に似ていることからこの名があります。

露胎・・・釉薬がかかっておらず、素地が見えている状態のこと。

答え: かいらぎ しとうもん しのぎ ときん るたい

陶芸羅針盤 熱電対(ねつでんつい・サーモカップル・TC)のしくみ

陶芸窯の温度を計るための道具として熱電対があります。今回は「熱電対」がどのような測定原理で温度を計っているのか調べてみました。熱電対は2種類の異なる金属線を先端で接合し対にした温度センサーです。その両端に温度差が発生すると微弱な電流(熱起電力)が流れるという原理を利用しています(ゼーベック効果、図1参照)。これを利用して、図1の低温側を開放し電位差(熱起電力)の形で検出してあげれば温度計となります。(図2参照) この熱電対による熱起電力の発生は、2種類の金属線の組み合わせが同じならば、金属線の太さや形などの違いによる影響を受けないという特性があります。そのため熱電対は加工性が良く、広く産業用温度センサーとして使用されています。

【熱電対の種類】

一般に陶芸窯の温度測定に使われている熱電対はR型の「磁性保護管形熱電対」(一般型的一种)といえます(他にシース熱電対があります)。また、計測する温度や特徴・用途・規格(JIS,IECなど)・規格外を含めると数十種類あるとされています。

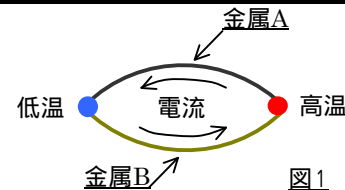


図1

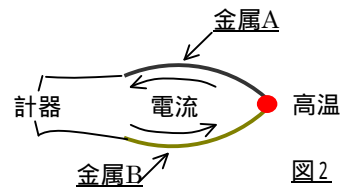


図2

【JIS規格熱電対】

種類の記号	構成材料		使用温度範囲	加熱使用限度	特徴
	+脚	-脚			
K	クロメル	アルメル	-200 ~ 1000	1200	温度と熱起電力との関係が直線的であり、工業用として最も多く使用されている
J	鉄	コンスタンタン	0°C ~ 600°C	750°C	E熱電対に次いで熱起電力特性高く、工業用として中温域で使用されている。
T	銅	コンスタンタン	-200°C ~ 300°C	350°C	電気抵抗が小さく、熱起電力が安定しており、低温での精密測定に広く利用されている。
E	クロメル	コンスタンタン	-200°C ~ 700°C	800°C	JISに定められた熱電対の中で最も高い熱起電力特性を有している。
N	ナイクロシル	ナイシル	-200°C ~ 1200°C	1250°C	低温から高温まで、広い範囲にわたって熱起電力が安定している。
R	ロジウム13%を含む白金ロジウム合金	白金	0°C ~ 1400°C	1600°C	高温での不活性ガスおよび酸化雰囲気での精密測定に適している。精度が良くバラツキや劣化が少ないため、標準熱電対として利用されている。
S	ロジウム10%を含む白金ロジウム合金	白金	0°C ~ 1400°C	1600°C	高温での不活性ガスおよび酸化雰囲気での精密測定に適している。精度が良くバラツキや劣化が少ないため、標準熱電対として利用されている。
B	ロジウム30%を含む白金ロジウム合金	ロジウム6%を含む白金ロジウム合金	0°C ~ 1500°C	1700°C	JISに規定された熱電対で最も使用温度が高い熱電対。

クロメル:ニッケル及びクロムを主とした合金、アルメル:ニッケルを主とした合金、コンスタンタン:銅およびニッケルを主とした合金、ナイクロシル:ニッケル、クロムおよびシリコンを主とした合金、ナイシル:ニッケルおよびシリコンを主とした合金

編集後記「あとかんげん」

8月。このまま暑くなり続けたら、12月になるとどうなってしまうんだろう。と思った日々も今は昔。暑くなり続けることもなく、予定通りすごしやすい季節になってきました。さて、12月24日が普通の日になって久しい。そう、あの頃の12月24日は1年で最も楽しみな日。なぜ楽しかったのか?それは予定があったからだ。こうなる!という楽しい予定があって、苦しかった仕事や蒸し暑い日々はもう終わっているからだ。明日はクリスマスだし、お正月までは1週間、大晦日だって特別に夜更かしできるし、テレビもおもしろい。良い予定ができれば、今がどんなに辛くても我慢できるのだ。例えば仕事。この製品を納めたらお客様が喜んでくれる、と思えば「よーしっ」と元気が出る。半年後に旅行に行く予定を立てれば、これもまた楽しい。2歳半の子供。将来は医者か弁護士と親は勝手に予定を立てる。楽しいからだ。今日は新しいデジカメを買いに行こうでもいい。明日は新装開店の寿司屋に行く予定でもいい。やきもの。完品として窯から出るだろう、という予定があるから苦しくも楽しく創ることができる。楽しいとか楽しむということにはおカネはかからない。仕事が楽しくなればいい訳だ。この仕事をすると将来こんないいことがある、と思いつくようにすればすべてが楽しい。